



国労せんだい

こくろうせんだい
FAX版

号 外
2011年4月4日
発責 橋本 昭二
編責 武田 昌仙

東日本大震災

全国からの支援続く

必要な物資の連絡を

近畿・大阪・北陸からも

有効活用される

全国の仲間からの支援が本部に寄せられているが、仙台地本内部でも、3月28日には、郡山工場支部が組合員に呼びかけ集約した支援物資が地方本部に届けられ、早速仙台総合車両所支部の被災した組合員に活用された。また、3月30日、本部から地本に届け

られた物資については、原発事故の放射能汚染により水道水の取水制限がされている郡山地区の要請により、水・マスク・トイレットペーパー・ティッシュペーパーなどの物資を郡山に発送。これには近畿地方本部からの支援物資も含まれているという。更に、仙台信通区分会の自宅流失や損壊した組合員2

必要物資の要請を

4月2日、3日と北陸地本から水やレトルト食品等が届き、近畿地本から第二次として男女の下着類と靴下、大量のズボン等、うがい薬とコック

プが届けられた。また来週には新幹線地本から自転車6台が届けられる予定だ。更に支援カンパは大阪新幹線保線の仲間から届けられ、秋田地本からもカンパ送付の連絡があった。支援を行って頂いた関係地本等については心からお礼を申し上げます。

仲間のメール報告

震災で出勤出来なかった17日、18日、19日が、ようやく勤務扱いになりました。取りあえず報告まで。いろいろ難儀をかけた。一建新庄に出向の高橋長逸さんから）
秋田地本、秋田支部の米谷執行委員が地本を訪れ、その際ガソリンの差し入れを受けました。岩沼へご子息の引っ越しのため訪れその帰り道だそうです。瀬下地本委員長にも報告し、御礼を申し上げます。（橋本委員長より）
小牛田駅連合分会の赤間秀一さんは、4月1日からエルダーとして野蒜駅勤務する予定でしたが、野蒜駅は津波の被害を受け、赤間さんは車を失ったため、当面は涌谷駅（地元）でバス代行輸送の案内を指定されたそうです。（中島副委員長より）

東京闘争団から激励とカンパ

東日本大震災に遭われた組合員・家族の皆さんに心からお見舞い申し上げます。

が、被害にあわれた東北及び関東の皆さんとJRで働く国労組合員とその家族に心から哀悼とお見舞いを申し上げます。

このような惨状の中で、被害にあわれた関係する地方本部と組合員の皆様が事態の深刻さと困難に果敢に立ち向かっていくことに敬意を表します。

私達の24年間に渡る長い闘いにいたいたたいご支援に報いるために、小さな闘争団ですが、出来ることに全力で取り組みたいご支援致します。皆様方が明日への希望を持って引き続き進まれんことを祈念致します。

がんばりましょう。2011年3月26日
国労東京闘争団一同

太平洋沖を震源とするM9.0の地震が発生し、東北・関東などに甚大な被害を及ぼしてから2週間余りが経ちました。この間に福島原発の重大事故が起きて被害はさらに拡がっています。

遅くになりました

遅くになりました

遅くになりました

遅くになりました

遅くになりました

遅くになりました

遅くになりました

遅くになりました

遅くになりました